

テーマ2 グラフで見るコロナ禍の生活の変化～男女共同参画の視点から～

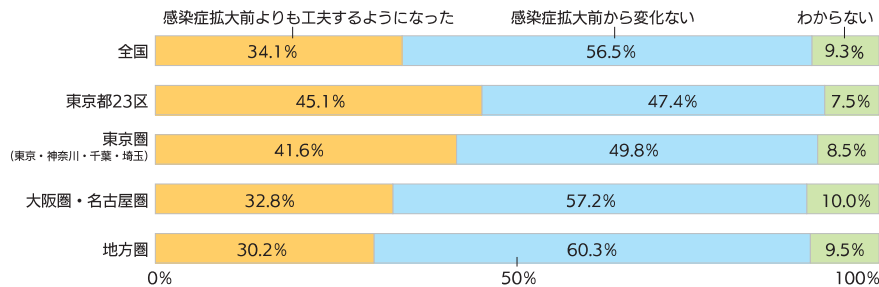
内閣府が調査を行ったアンケート調査のグラフを見て、ほっとらいん編集協力員の4人で話し合ってみました！

「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」内閣府調査より
調査期間 令和2年5月25日～6月5日

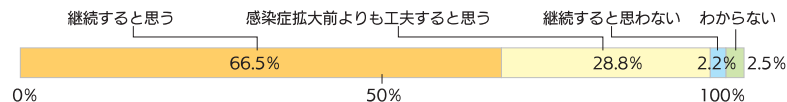
《家事・育児の役割分担の工夫について～18歳未満の子どもがいる世帯対象～》

質問 家事・育児について、夫婦間の役割分担のやり方を工夫するようになりましたか？

(例えば、固定的な役割分担の柔軟化、夫婦間のより丁寧な相談等)



質問 その工夫は、今後も継続すると思いますか？(感染症拡大前よりも工夫するようになったという回答者に質問)



～ほっとらいん編集協力員の感想～

「今後も継続すると思う」と回答した人が66.5%いることは良いことですね。

東京都23区は、共働き世帯が多いので、工夫せざるを得なかったのかもしれないです。

家にいる時間が長くなったから、夫婦間の役割分担のやり方を工夫するようになったのかもしれないですね。ワーク・ライフ・バランスが大切です。

男性は仕事で忙しく、家族のために使える時間が取れない人もいますよね。男性が家事や育児に参画することで、女性の負担も減ると思います。

まとめ

- ・家族で、家事分担について話し合いをしてみましょう。見えない家事がたくさんあるかもしれません。
- ・家事の分担表を作ってみましょう。役割が明確化されます。
- ・家事をした人に感謝の一言を。「ありがとう」とお礼を伝えてみましょう。



男女共同参画情報

第63号

ほっとらいん

新型コロナウイルス感染症の拡大により、私たちの生活は大きく変わりました。新しい生活様式となり、変わったこと、良かったこと、悪かったこと……。ほっとらいん編集協力員の4人と今年度を振り返りました。



ほっとらいん編集協力員

大島規盟さん 宮岡恭子さん 黒山湖子さん 相馬秀正さん

テーマ1 コロナ禍の身近な生活の変化～男女共同参画の視点から～



友人の話ですが、新型コロナウイルス感染症が拡大したことで、在宅勤務になり家事の手伝いをしていました。話を聞くと、**家事と仕事の両立は大変そう**でした。

私の夫も在宅勤務になり、子どもたちも家にいるようになったので、生活が変わりました。私は、3食4人分の食事を作ることに加え、力を持って余す子どもたちへの対応、外出自粛の中で、買い物に行くのも私一人と、母親にかかる**比重がとて大きく**なると感じています。



コロナ禍では、外に出て働いていた人も家にいる時間が増えていますよね。今まで外に出て働いていた人は、家にいて家事や育児をしている人がどのようにやっているのかわからない人も多いんじゃないかな。

皆さん、生活はそれぞれ変わりましたよね。我が家は自営業で、夫婦で**家事の分担**をしています。自分が家にいて店番をしている間に、外回りをしている夫がスーパーで買い出しをするなど、自然と役割分担になっているのかもしれないですね。



なるほど。家事の分担ですね。夫婦間では、暗黙のルールがあって、いつの間にか家事を任せてしまっていることもあるかもしれませんよね。

まずは、夫婦の**コミュニケーション**が大事ですね。どちらがどのような家事をやるか、例えば家事の分担表を作ってみるのも良いかもしれません。

それはよいアイデアですね。**分担にすると、手伝いではなく、その家事の担当になりますもんね**。一度、妻がどのような家事をやっているのを知りたいですね。家事を分担して、実際に家事をやってくれたとき、**感謝をすること**が大切かもしれませんね。普段家事をしてもらっていると、やってもらうことが当たり前となり、感謝の気持ちを伝える人は少ないと思います。「ありがとう」の一言があると、お互い気持ちがよいですね。感謝されて嫌な人はいないです。



妻が家事をしている家庭が多いかもしれませんが、今は妻だけが家事をする時代ではなくなっていると思います。妻だけでなく、夫婦で家事を分担しながら、**子どもたちを巻き込んでみてよい**かもしれませんね。それも一つの教育になるかな。